

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会は、2026 年度日本陸上競技連盟規則、ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 札幌市厚別陸上競技場使用上の注意

- 1) 当該種目競技者以外は、競技エリアへの立ち入りを禁止する。
- 2) 競技開始後はフィールド内での練習を禁止する。
- 3) 練習場所については、補助競技場・屋内走路とする。屋内走路で走る際は一方向のみとする。
- 4) 開門時間は、**審判および競技役員 6:30、その他 7:00**とする。
- 5) 補助競技場の開門時間は、7:00 とする。
- 6) 朝の主競技場での練習は行わないこととする。
- 7) 補助競技場での投擲練習は危険防止のため禁止する。
- 8) 厚別公園競技場内でメインスタンド以外での場所取りは禁止する。
- 9) トイレは補助競技場近くの主競技場外側とバックストレート側中央(2 カ所)の 3 か所が使用可能となっている。

3. 点呼について

- 1) 競技者は指定された時間までに 1 次点呼 (○付け)・腰ナンバーの受け取りを行い、その後、各競技開始場所に直接集合すること。1 次点呼 (○付け) 終了時刻・現地集合時刻は以下のとおりとする。

	1 次点呼	現地集合時間
トラック競技	競技開始 40 分前	競技開始 20 分前
フィールド競技	競技開始 40 分前	競技開始 30 分前

- 2) 1 次点呼 (○付け) 場所は、**競技場中央エントランス**に設ける。
- 3) 3000m 以上の競技では、通しナンバーの書かれたアスリートビブスの配布をもって 1 次点呼とする。その他の競技は、競技者係にて掲示されたスタートリストへの○付けおよび腰ナンバーの受け取りをもって 1 次点呼とする。
- 4) 腰ナンバー標識及び通しナンバーは、1 次点呼の際に競技者係から受け取ること。
- 5) 指定された時間までに 1 次点呼を行わない、または指定された時間に競技開始場所にいなかった競技者は 当該競技種目を棄権したものとみなし処理する。
- 6) 代理人による点呼は原則として認めない。ただし、競技者が他の種目に出場中の場合のみ代理人による点呼を認める。その場合はその旨を最初の種目の 1 次点呼の際に競技者係にあらかじめ伝えておくこと。
- 7) リレー種目は、オーダー用紙 (前日主将会議で配布・本部受付に用意) に走順・ナンバー・名前を記入し、招集完了時刻の 1 時間 30 分前までに競技者係に提出すること。リレーメンバーの全員での点呼は行わず、オーダー提出後は競技開始の 20 分前までに走者ごとに現地にて集合すること。

4. 棄権について

- 1) 事前に棄権することがわかっている場合は、主将会議にて申し出ること。
- 2) 大会当日、やむなく棄権する場合は、1 次点呼締め切り時刻までに競技者係に申し出ること。

5. アスリートビブスについて

- 1) 主将会議で配布したビブスを使用する。会議を欠席した大学は当日朝、本部まで取りに来ること。
- 2) 腰ナンバー標識は、競技者係で配布する。
- 3) 腰ナンバー標識は、個人トラック種目出場者については両側につける。 **4×100mR については第 4 走者のみ両側につける。 4×400mR については第 2・第 3 走者が左側に、第 4 走者が両側につける。**
- 4) 3000m 以上の競技に出場する選手は、1 次点呼の際に競技者係にて配布するアスリートビブスを体の前後につける。

6. シューズ、用器具について

- 1) 各競技者は日本陸上競技連盟競技規則 TR 5.2 に基づいてシューズを着用すること。
- 2) WA が作成した認証済みシューズリスト (<https://certcheck.worldathletics.org/FullList>) に基づき、使用の可否を判断する。
- 3) スパイクシューズのピンは全天候用のもので、9 mm（走高跳・やり投は 12mm）以内とする。
- 4) 競技に使用する用器具は、主催者側が用意したものを使わなければならない。持ち込みは不可とする。

7. 競技の抽選・番組編成について

- 1) トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順はアスリートランキングおよびプログラム記載の順による。

8. トラック競技について

- 1) すべて写真判定とするが、万一、機器が故障し復旧しない場合は、手動計時に切り替えて継続する。
- 2) 逆走は競技開始 60 分前までに決定しアナウンスにて報告する。
- 3) リレー競技においては、同一チームの競技者は原則として同一のユニフォームを着用すること。
ただしデザイン・配色が同一であればユニフォームの形態が異なっても問題ない。
- 4) リレー種目では、当該リレー種目で登録していないが他の種目でエントリーしている選手の出場を 2 人まで認める。

9. フィールド競技について

- 1) フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。
- 2) 走高跳を除く共通種目では、全員 3 回の試技を行い、Top8 の試技は行わない。
- 3) 走高跳でのバーの上げ方は下記のとおりとするが、審判員の判断で変更することもあり得る。
(練習 1m25) 1m30 から 1m40 まで 5cm 刻み、1m40 から 3cm 刻み

- 4) 三段跳の踏切版は砂場から男子 10m、女子 8mの位置に設置するが、審判員の判断で変更することもあり得る。
- 5) 円滑な競技進行のため、試技を行う際には制限時間を遵守すること。
- 6) 競技者とのコミュニケーションはコーチングエリアから行うこと。

10. 抗議について

- 1) 競技進行中に起きた競技者の行為、または競技成績に関する抗議は、その競技者あるいはチームの代表者により結果が正式発表（アナウンス）されてから 30 分以内（次のラウンドが行われる競技では、その結果が正式に発表されてから 15 分以内）に、総務員を通して口頭で審判長になされなければならない。時間以内に申し出がなければ、何ら問題はなかったものとみなされる。
- 2) 抗議に対して審判長は速やかに裁定する。その裁定を不服とし、さらに抗議する場合は抗議申立書と**預託金 20,000 円**を添えて上訴する。その預託金は抗議が受け入れられなかった場合は没収される。
- 3) この間の事務処理は総務員が行い、抗議者は大会本部で待機する。

11. 撮影について

- 1) 大学関係者以外による撮影は禁止する。
- 2) 競技者(選手)がカメラで撮影されることによって嫌悪や不安に感じられると思われる場所からの撮影は禁止する。また、撮影をしている場所によって不審と判断された場合、競技役員が注意、撮影内容の確認をする場合がある。

12. 表彰について

- 1) 本大会では、個別の種目についての表彰式は行わない。競技場エントランスにて競技者または代理の者が受け取ること。
- 2) 各競技 3 位までにメダル、6 位までに賞状を授与する。
- 3) 競技終了後、総合優勝校に優勝カップ、準優勝校にトロフィー、トラック・フィールド優勝校に盾の授与を行う。

13. 対抗得点について

- 1) 得点種目は 4 大学以上からエントリーがあったものとする。
- 2) 種目別得点は、1 位：6 点、2 位：5 点、3 位：4 点、4 位：3 点、5 位：2 点、6 位：1 点とする。エントリー数が 6 名以下の場合は最下位から順に 1 点、2 点、3 点と得点を付ける。

14. 個人情報について

- 1) 主催者及び共催者は、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を順守し個人情報を取り扱う。なお、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。
- 2) 大会の映像・写真・記事・個人記録等は、主催者、共催者、事務主及び主催者、共催者、事務主管

が承認した第三者が大会運営及び伝等の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、インターネット等の媒体に掲載することがある。

- 3) 大会の映像は主催者及び共催者の許可なく第三者がこれを使用すること（インターネット、SNS 上において画像や動画を配信することを含む）を禁止する。

15. その他

- 1) 選手および観客、審判・補助員の安全を考慮し、地震、台風、雷、荒天や、猛暑(暑さ指数 (WBGT) 31 度以上の場合)は、大会を中断または中止することがある。

また、WBGT の予測値によっては、競技開始直前にタイムテーブルを変更する可能性がある。

- 2) 集団での声出し応援は可とするが、メインスタンドでの集団応援は走幅跳・三段跳の応援を除き禁止する。
- 3) 競技者の衣類の管理は、すべて各自、各校で行うこと。役員・補助員による運搬は行わない。
- 4) 盗難・紛失について、主催者で受領した物品については一時保管するが、その他のものについては一切責任を負わない。なお、主催者で受領した物品等は大会本部で管理する。
- 5) 競技中に発生した傷害、疾病についての応急処置は主催者側で行うがそれ以降の責任は負わない。ただし、原則加入とした国内旅行傷害保険が適用される場合がある。
- 6) 横断幕の設置やのぼりの設置に関して、特に制約は設けないが常識の範囲内で 周囲に迷惑のかからぬよう掲出すること。
- 7) 駐車場は正面駐車場、第 1 駐車場を開放するが、駐車許可証を外から見える場所に置くこと。置いていない場合、移動を指示することがある。駐車場が埋まった場合は近隣の駐車場に止めていただくが駐車料金は各自の負担とする。
- 8) 大会期間中に出たゴミは、配布したごみ袋において確実に分別したもののみ大会側で引き取る。
燃えるゴミ、生ゴミ、ペットボトル・ビン・缶（一緒によい）の 3 つに分別すること。
- 9) 不審者・不審物等を発見したら、大会本部まで連絡すること。
- 10) その他、不明な点は大会本部まで問い合わせること。